

回覧

令和6年2月吉日

会員各位

自治会長

能登半島地震支援について

正月早々に発生した能登半島地震は冬の厳しさと共に、時間がたつほどその被害の大きさと厳しい状況が明らかになり、他人事でなく全国からの支援が必要とされる状況となっています。

1月9日年内最初の連合会常任理事会において生駒市の自治会として被災者への支援をどうするかとの呼びかけをおこなったところ、具体的にどうするか提起するべきだとの多くのご意見を頂き、支援活動を各自治会へお願いすることが決まりました。

生駒市自治連合会では、平成23年に発生した東日本大震災の際には、各自治会から1世帯￥300円、総額にして￥11,476,203円の募金が集まり、当時生駒市から支援に派遣されていた3市町村へ連合会役員が現地に赴いて支援金を手渡しましたが、今回の被災の内容も東日本大震災に劣らない内容と復興に長期の期間が求められる様相が明らかになっており、前例を踏まえた取り組みを提起することとしました。今回は非常に厳しい思いをして生駒市から消防職員・水道職員・事務職員が派遣されている、石川県穴水町を支援対象とする予定です。

つきましては、募金の取り組みについて生駒市民全体の力で被災地支援が進みますようお力添えをお願い致します。